

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	決壊した河川からの水量増加により、道路の浸食崩壊が拡大し身体の危機を感じた。
3. 体験した事例の中心的要素	各隊員初めて経験する状況の中、水量増加による道路の浸食崩壊の拡大具合が予測困難であったこと。
4. 体験した事例の原因・理由	記録的な豪雨。 状況が悪くなる中で救出時間に猶予がなく、その中での救出活動。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意思決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った)
------------------	-----------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成25年9月16日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：決壊した河川付近の住宅敷地内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	・崩壊・倒壊(に巻き込まれる) ・おぼれ ・退路の消失、寸断
7. 事例体験時の活動	風水害等の災害、救助
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	現場到着、現場活動初期、現場活動中期、現場活動終了時、撤収
9. 同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)



○当事者A	年齢[41]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[23]年、階級[消防士司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[49]歳、勤続年数[27]年、現場経験年数[27]年、階級[消防士司令補] 同様の活動 [過去に1,2回程度]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[28]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8]年、階級[消防副士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	現場では上記3名のほか、14名。

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	全員	濁流が上流域から現場へ流入してきている状況の中での活動	
経過2	全員	濁流により川岸が浸食され崩壊が継続している中での活動	
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで泥んだのはどうしてだと思うか？

- ・集中力、注意力があった
- ・指揮者が適切に指示した
- ・他隊(員)との連携活動がうまくいった
- ・たまたま、事故にならなかった
- ・その他
- 要救助者が、救助隊員の指示に慌てることなく従い行動してくれた

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防浪動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

チタン製3連梯子を最大伸長、対岸に水平に渡し、工場内のH鋼と工場前民家にスリング、カラビナで支点をとり、ザイルで命綱を展張。要救助者に水難用ヘルメット、柱上安全带、ライフジャケットを着用して一人ずつ渡る方法を選択。

